

The Rotary Club of KOBE-NORTH

Weekly  Bulletin

NO.43 通算1940回

2014～15年度RIテーマ



Light Up Rotary

クラブ会長テーマ

— 奉仕の輪・心の和 —

会長 松田 洋三 幹事 阪本 幸一

今週の例会プログラム(5月29日)

「生鮮野菜の需給動向」

石田 義治会員

ソング: 川の流れるように

次週の例会プログラム(6月5日)

「親睦活動月間に因んで」

八十島親睦委員長

ソング: 君が代・四つのテスト



【平成27年5月22日の例会より】

≡会長報告(松田会長)

昨日(5月21日)は快晴で湿度も低く空気がさらーとして、非常に快適でした。プロ野球では昨日、阪神が巨人に1点先取されて今日もまた負けてしまったと思いTVのチャンネルを変えてほかの番組をみて、後にスポーツニュースを見ていたら、阪神が勝っていました。阪神ファンにはラッキーな一日でした。

5月も後半になり、会長の任期もあと1か月と少しになりましたが会員増強の任務が残っています。先週に新入会員予定者のプロフィールの書類を配布し1週間経過しました。異議の申し出がなかったので、新入会員として入会の手続きに入ります。今年度、新入会員の方が5名となりました。皆様方の努力によりクラブの会員数が増えることになり、クラブの活気が出てきました。

ありがとうございました。来年度も会員が増えるように努力をお願い致します。

6月12日にはクラブアッセンブリーを行いますので、現理事役員の方は今年度の活動内容の要旨を提出してください。また次年度の新理事役員の方は活動方針を次期幹事の西村会員へ提出をお願い致します。

≡幹事報告(阪本幹事)

- 2014年-15年度国際ロータリー2680地区ローターアクト 第37回年次地区大会のご案内
日時: 2015年6月21日(日) 10:00 受付開始 11:00 開会 18:30 終了
会場: 夢回遊 淡路島
〒656-0024 兵庫県洲本市山手-1-50(大浜海岸横)

例会場 ANAクラウンプラザホテル神戸 9F 〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目1 TEL. 078-291-1121
例会日 金曜日 18:30~19:30
事務局 ANAクラウンプラザホテル神戸 11F 〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目1
TEL 078-231-2211 FAX 078-231-2211
E-mail: knrc@ace.ocn.ne.jp ホームページ: <http://knrc.exblog.jp/>

会費：ロータリアン 12,000円 登録締切 6月5日

2. 本日例会終了後、第2回ノミネー理事・役員・委員長会がごございます。該当の方は、ご出席をお願いします。
3. 他クラブの週報を回覧します。

委員会・同好会報告

・プログラム委員会

6月の例会プログラム予定

| 6月5日 | 6月12日 | 6月19日 | 6月26日 |
|--------------------------|-----------------|-----------------------|------------------------------------|
| 「親睦活動月間に因んで」 八十島親睦委員長 | 「会員卓話」 茅園 会員 | 「次年度に備えて」 中西会長エレクト | 「退任挨拶」 松田会長、茅園副会長 阪本幹事、西村SAA |

本日の例会プログラム

「クロアチア旅行」

井関 勇司会員

この5月の連休にクロアチアに行ってきました。岡本会員も昔来訪したことがあるとか。

クロアチアはいろいろな国に支配されてきた歴史がある。古くはローマ帝国、ビザンチン帝国、フランク王国、ハンガリー・オーストリア帝国、ヴェネツィア共和国などに。戦後はユーゴスラビア社会主義連邦、そして、1991年にやっとクロアチアとして独立した。人口は440万人、面積は九州の1.5倍、宗教はカトリックが多い。ネクタイはクロアチアから発祥したとか。

スライドを見ながらご案内しましょう。

最初はザグレブ。クロアチアの首都、政治・経済の中心。古き良きヨーロッパ風のノスタルジックな雰囲気のある街で、青いトラムが走る。

聖マルコ教会（屋根のモザイクはカラフル）、聖母被昇天大聖堂（1000年以上の歴史を持つ大聖堂で、2本の尖塔がザグレブの象徴）、イエラチッチ広場（町の中心、イエラチッチ総督の像がある）、ドラツ青果市場などを見学した。

翌日は、プリトビチエ湖畔国立公園（世界遺産）へ向かう。ボスニアの国境近く、切り立った峡谷に、92の滝、16の湖の景勝地、湖が階段状に連なる風景は素晴らしい。しかし、ここでも、クロアチアと旧ユーゴ（セルビア）との戦争の爪痕が残されていた。

次に、内陸部から、アドリア海沿いの街へ移動した。

最初にシベニクに行く。世界遺産の聖ヤコブ聖堂は、1000年以上の歳月をかけ完成した白亜のドームの大聖堂で、壁面に72人の頭部の彫刻がある。

さらに、世界遺産の古都トロギールへ。ギリシャ時代に起源をもつ城壁に囲まれた小島で、石畳で、中世に迷い込んだような街並みに踏み入れる。クロアチアを代表する教会、聖ロブロ教会大聖堂や時計塔などを観光。

その後、クロアチア第2の都市でもあるスプリットへ。ディオクレティアヌス宮殿（世界遺産）は、3Cにローマ皇帝ディオクレティアヌスが晩年宮殿を建て、その後、宮殿跡に人々が移り住み、街を造った。

宮殿の地下、大聖堂（スプリットの守護聖人を祭る）、スフィンクス、洗礼室、グルグールの像など、旧市街を見て回った。丁度、当日は守護聖人の祝祭日で、ものすごい人出で、式典にクロアチアの女性大統領も出席していた。

最後に、今回の一番の見所で、中世の面影を残すアドリア海の真珠と言われるドブロブニク旧市街（世界遺産）へ、5時間かけてバスで移動。海洋貿易で栄え、紺碧のアドリア海に突き出た旧市街は地上の楽園といわれ、世界遺産に登録されている。一大観光地で、ピレ門、フランシスコ修道院、ノフリオの噴水、プラツァ通り、聖ボラボ教会、旧総督府、スポンザ宮殿、大聖堂などを歩いて見て回る。中世の街にタイムスリップしたみたい。スルジ山展望台から眼下に望む

